



1. 事業概要

複雑化・複合化した福祉問題を抱える対象者を包括的に支援するため、「高齢・介護」、「障がい」、「子ども・子育て」、「生活困窮」の各分野の既存の相談支援機関や庁内の関係課が、縦割りではなく、対象者の属性や担当課の枠組みを超えて、互いに連携・協働して支援する体制です。

2. 支援対象者

複雑化・複合化した問題を抱え支援を必要とする市民

【具体例】

- ・8050(ハチマルゴーマル)問題の当事者
- ・長期間引きこもり状態にある者
- ・介護と子育てを同時に担うなどダブルケアの状態にある者
- ・ヤングケアラーや社会的孤立により生きづらさを抱えている者
- ・分野や属性を超えて庁内・多機関の連携・協働が必要な者 など

3. 支援方法

- ・ふくし相談センターの包括化推進員が、多機関協働をコーディネートする
- ・必要に応じて重層的支援会議を開催し、庁内の関係課や市内の多機関が協働して、断らない相談支援体制を構築する
- ・支援プランを作成し、支援の過程をモニタリングして進捗を管理する
- ・対象者のニーズに合わせたサービスへの参加を支援する
- ・対象者の居るところに支援者が出向き、継続的で伴走的な長期支援を展開する など

【那珂市の概要】（令和5年4月1日現在）

人口 53,683人

世帯数 21,300世帯

面積 97.82km²

高齢化率 32.73%



那珂市の北側には久慈川が西から東へ、西側には那珂川が北西から南東へと流れています。那珂市の地形は、この両一級河川の沿岸に広がった広大な水田地帯と、中央に広がった那珂台地からなっています。

那珂市における重層的支援体制整備事業展開のイメージ（R5年度当初版）

